

平成28年度 事務事業評価一覧(上下水道局)

No.	事務事業名称	所属
1	広報広聴事業	総務企画課
2	配給水管漏水調査	水道課

平成28年度 事務事業評価シート

※平成27年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	広報広聴事業					継続								
コード	27	-	078	-	01	-	00	予算事業名	広報・広聴事業					
担当部署	上下水道局	総務企画課			企画担当		予算事業コード	会計	款	02	項	10	目	50

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け(太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務			義務ではない
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち		実施計画事業名	なし		
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり		個別計画等の名称	川越市水道ビジョン		
施策	2	水道水の安定供給		当事業に関連する事務事業	なし		
細施策	3	効率的な事業の推進					
事業実施の根拠となる法令・条例等	水道法 第二十四条の二						

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市民に対して、水道事業及び公共下水道事業の事業内容やその大切さを理解してもらうため、情報提供を推進する。		
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	広報誌「上下水道局だより」の発行や、水道週間関連事業の実施、上下流交流事業やポスター展等の実施により、水道事業及び公共下水道事業の啓発を行う。		

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度(見込額)	備考欄
事業費	A	4,290	4,433	4,171	3,354	5,555	
人件費	B	11,739	9,902	10,275	10,290	10,290	
総コスト(C=A+B)		16,029	14,335	14,446	13,644	15,845	
正規職員(1年間の従事人数)		1.60人	1.40人	1.40人	1.40人	1.40人	
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
国県支出金	D	0	0	0	0	0	
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	
市の財政負担(=C-D-E)		16,029	14,335	14,446	13,644	15,845	

※臨時職員の給与も人件費に含まれます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度目標値	将来目標値
活動 水道啓発事業実施回数	回	4	4	4	(目標) 4 (実績) 4	4	年度 4
指標の定義・説明		市民へ水道啓発の事業及びイベント(施設開放等)を実施した回数					
活動 下水道啓発事業実施回数	回	2	2	2	(目標) 2 (実績) 2	2	年度 2
指標の定義・説明		市民へ下水道啓発の事業及びイベント(ポスター展等)を実施した回数					
					(目標) (実績)		年度
指標の定義・説明							
					(目標) (実績)		年度
指標に基づく評価		水道及び下水道啓発については、市民の水道及び下水道に関する知識を深めるため、今後も継続的に推進していく。					

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題					
上下水道事業に関する情報提供の推進と啓発の必要性は今後も一層高まるものと思われる。総合計画においても情報提供の推進などは主要な事業の一つとして位置づけられており、今後も推進していかなければならないものと考え。しかし、アンケートでは広報紙と上下水道局ホームページの閲覧率は低い状況にある。公開内容や媒体等、他市の状況を参考にしながらより効果的な方法を検討していきたい。						
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)						
水道週間、下水道の日行事については全国共通で実施する事業である。						
(3) これまでの見直しや改善等の経過						
今後3年間の方向性	28年度	継続	29年度	継続	30年度	継続

平成28年度 事務事業評価シート

※平成27年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	配給水管漏水調査						継続				
コード	27	-	082	-	01	-	00	予算事業名	漏水防止事業		
担当部署	上下水道局		水道課		配水維持担当		予算事業コード	会計 01	款 02	項 10	目 20

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け (太枠内)			位置付けなしの場合	法令による実施義務	義務ではない
基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち		実施計画事業名	漏水防止事業
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり		個別計画等の名称	なし
施策	2	水道水の安定供給		当事業に関連する事務事業	なし
細施策	1	施設 設備の改修及び更新			
事業実施の根拠となる法令・条例等	水道法第2条				

2. 事業の目的と概要

事業の目的 誰・何を対象に、何のために実施するのか)	漏水を早期に発見し修繕することにより有収率の向上を図るとともに、水資源の有効利用を図るため、計画的な漏水調査を行います。
事業の概要 活動内容、実施手段・方法など)	漏水調査は、市内全域を2年で一巡するよう調査地区を設定し、水道本管から各戸のメーターまでの給水装置について、戸別音聴調査を行います。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度(見込額)	備考欄
事業費	A	25,630	23,454	24,890	17,451	30,872	
人件費	B	6,970	6,719	9,908	7,350	11,760	
総コスト C=A+B)		32,600	30,173	34,798	24,801	42,632	
正規職員 (1年間の従事人数)		0.95人	0.95人	1.35人	1.00人	1.60人	
臨時職員 (1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
国県支出金	D	0	0	0	0	0	
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	
市の財政負担 (←C-D-E)		32,600	30,173	34,798	24,801	42,632	

※臨時職員の給与も人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度目標値	将来目標値
成果	漏水発見	箇所	441	259	391	(目標) 368 (実績) 188	428
	指標の定義・説明		漏水調査によって年間に発見された漏水件数				
成果	漏水発見率	%	0.6	0.4	0.5	(目標) 0.6 (実績) 0.3	0.6
	指標の定義・説明		年間漏水調査発見率				
活動	漏水調査戸数	戸	71,100	63,500	71,100	(目標) 61,300 (実績) 61,300	71,400
	指標の定義・説明		年間漏水調査戸数				
指標に基づく評価		漏水調査による漏水の発見は、有収率向上の一端を担っており、継続的な活動が必要である。					

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況	課題はない					
(2) 比較参考値 他市での類似事業の例など	他市においても、同様な漏水調査業務を行っている。					
(3) これまでの見直しや改善等の経過	H26年度とH27年度の2年で市内全域の漏水調査を行った。2年間の調査結果データからは優先順位等を設定するのは難しく、従来通りに2か年で市内を一巡する方法を進めていく。					
今後3年間の方向性	28年度	継続	29年度	継続	30年度	継続